

# 平井 元喜さん

ピアニスト・作曲家

英國・ロンドンを拠点に世界各地で活躍する平井元喜さんが、3~4月にかけてバービカンセンター（ロンドン）、コンセルトヘボウ（アムステルダム）、コノツェルトハウス（ヴィーン）にて「東日本大震災5周年チャリティ」のピアノリサイタルを行います。

震災が起きた3月11日は平井さんの誕生日だったそうですが、どうやらピースを知りましたか？

震災当日はニューヨーク公演を終えてロンドンへ戻ったところでした。朝散歩していると（日本から離れているのに）空と雲の様子がいつも違っていたことを鮮明に覚えています。ほぼ20年ぶりだった誕生バーティーをすぐにキャンセルし、自分にできることを何かすぐにでもしなくては、という気持ちになりました。

約2か月間で7・8回の復興コンサートを英国各地で行い、1,000万円もの寄付が集まつたそ

うですね。ちょうど同年5月にロンドンのカドガンホールでリサイタルを予定していたので、まずその収益の全額を寄付することに決めました。これがきっかけとなつて支援の輪が一気に広がり、日本人から「チャリティ・コンサートを開催したい」といった様々なお話をいただきました。ですので、決して私一人の力で成し遂げたのではなく、関係者やご来場いただいた方々のお陰なのです。

ご協力いたいた皆様には心から感謝しています。被災地を思い、一人ひとりが自分にできることを誠心誠意行つた結果、小さな一步が大きなものにながつたのだと思います。

被災地でのコンサートも積極的に行つていると

お聞きしました。その中で感じたことは？

はじめ被災地の人々にどんな言葉をかけたら良いのか不安でしたが、その思いはすぐに吹き

飛ばされました。中には大切な家族や友人を失い、心に深い傷を負つた子どもたちもいたはずです。その光景をみて、彼らが夢や希望を失わず少しでも明るい未来を歩んでいたり、サポートを続けたいと思

ました。被災地には帰りたくても帰れない、ブレハブの仮設住宅に暮らす人がまだ沢山います。最近また被災地へ行きましたが、復興までの道のりは長く、継続的な支援が必要だと改めて感じています。

被災地には帰りたくても帰れない、ブレハブの仮設住宅に暮らす人がまだ沢山います。最近また被災地へ行きましたが、復興までの道のりは長く、継続的な支援が必要だと改めて感じています。

ロンドン、アムステルダム、ヴィーンで行う一連のチャリティーコンサートへの思いは？

今年は震災から5年という大きな節目です。はや5年、まだ5年です。これらのコンサートを通じて犠牲者への祈り、震災を風化させてはいけないという思い、そして未来への希望を込めて演奏したいと思っています。音楽には不思議な力があります。私自身、辛い時、悲しい時に何度も音楽に救われたかわかりません。私の音楽が同じ様に、聴いてくださる方々の救いになります。

平井さんはほかにも社会貢献の活動やアウト

ロンドン、アムステルダム、ヴィーンで行う一連のチャリティーコンサートへの思いは？

今年は震災から5年という大きな節目です。はや5年、まだ5年です。これらのコンサートを通じて犠牲者への祈り、震災を風化させてはいけないという思い、そして未来への希望を込めて演奏したいと思っています。音楽には不思議な力があります。私自身、辛い時、悲しい時に何度も音楽に救われたかわかりません。私の音楽が同じ様に、聴いてくださる方々の救いになります。

2014年からRoyal Marsden Cancer Char-

ityと協力して、世界最先端のがん治療施設として知られるRoyal Marsden Hospitalで闘病中の子どもたちのためのチャリティーコンサートを行つたのですが、今回のコンサートにはその子どもたちご家族を招待します。外出が困難な患者さんためには別途、病院へ慰問演奏に行く予定です。闘病中の患者さんや彼らを支えるご家族を音楽で励ますことができればと思つています。

2014年からRoyal Marsden Cancer Char-

ityと協力して、世界最先端のがん治療施設として知られるRoyal Marsden Hospitalで闘病中の子どもたちのためのチャリティーコンサートを行つたのですが、今回のコンサートにはその子どもたちご家族を招待します。外出が困難な患者さんためには別途、病院へ慰問演奏に行く予定です。闘病中の患者さんや彼らを支えるご家族を音



被災地の元気な子供たちに囲まれる平井さん



津波に流されたピアノ（宮城県七ヶ浜町）



## 平井 元喜（ひらい もとき）さん

**プロフィール：**73年東京生まれ。桐朋高校、慶應義塾大学文学部（哲学科）、英王立音楽院大学院卒。これまでヨーロッパ・中東・アフリカ・米国・中南米・アジア各地を演奏旅行。米カーネギーホール、英ウイグモアホール等でしばしばリサイタルを行う。2016年は、ヨーロッパ各地や中南米ツアー、また日本では銀座王子ホールや被災地などでコンサートを予定している。また音楽を通して平和・教育・医療・環境問題にも積極的に取り組む。3.11以降、30回に渡り復興支援コンサートを続け、1,500万円以上を被災地へ寄付。07年よりプロジェクト「日本の民話絵本を世界へ」（朗読・音楽・映像のコラボ）を芸術監督として主導。NHK文化センター、時事通信社トップセミナー等で講演。BBC、NHK、テレビ朝日「題名のない音楽会」などテレビ・ラジオ出演も多数。96年よりロンドン在住。[www.motoki-hirai.com](http://www.motoki-hirai.com)

2014年からRoyal Marsden Cancer Char-

ityと協力して、世界最先端のがん治療施設として知られるRoyal Marsden Hospitalで闘病中の子どもたちのためのチャリティーコンサートを行つたのですが、今回のコンサートにはその子どもたちご家族を招待します。外出が困難な患者さんためには別途、病院へ慰問演奏に行く予定です。闘病中の患者さんや彼らを支えるご家族を音楽で励ますことができればと思つています。

『人種・言語・宗教の壁を越えて、音楽は人の心に直接響く。そして、音楽を愛するという一心において、世界に国境など存在しない。』

この信念を胸に平井さんの音楽活動は続きます。

※ 平井元喜さんによるロンドン・アムステルダム・ヴィーン3公演の収益は、震災孤児・遺児のための『東日本大震災ふくしまこども寄付金』（福島県庁）へ寄付されます。

「東日本大震災で多くの子どもたちが親を失いました。住み慣れた土地から離れなければならない子どもたちも多く、様々な喪失体験により幼い心に大きな負担がかかっています。子どもたちが震災前に抱いていた夢をあきらめることなく前に進めるよう、善意の寄附をいただき、長期的な支援を行っていきたいと考えています。」（福島県庁ホームページより抜粋）

※ 新春特別プレゼントのお知らせ：読者の中から各公演それぞれ2組4名様をご招待させていただきます。お名前・ご住所・ご連絡先をご記入の上、ユーロニュース編集部までEmailで（london@relotranseuro.com）ご応募ください。なお、当選者の発表は発送をもって伝えさせていただきます。

ロンドン公演：2016年3月3日（木）19:30  
Barbican Centre - Milton Court Concert Hall  
[www.barbican.org.com](http://www.barbican.org.com)

アムステルダム公演：2016年4月9日（土）20:15  
Royal Concertgebouw - Recital Hall  
[www.concertgebouw.nl](http://www.concertgebouw.nl)

ヴィーン公演：2016年4月28日（木）19:30  
Wiener Konzerthaus - Schubert Saal  
[www.konzerthaus.at](http://www.konzerthaus.at)

## 【プログラム】

ペートーヴェン：ピアノソナタ 第27番 ホ短調 作品90
ショーベルト：ピアノソナタ 第21番 变ロ長調 D.960
平井元喜：新作（2016）【世界初演】
百人一首による『音詩』（冷泉貴実子選）
平井元喜：Grace and Hope～祈り、そして希望（2011）
ショパン：マズルカ、ノクターン、スケルツォ第2番